



教育目標

伝える！ つなげる！ ゴースマイル！

# 小宮の丘

学校 Websites : <http://hachioji-school.ed.jp/komye/>

〇かしこい子 〇たかましい子 〇ゆたかな子 〇みんなと仲よく生きぬく子

令和3年度 学校だより

八王子市立小宮小学校

発行責任者

校長 安藤 臣一

令和3年10月29日発行

第7号

## 子どもたちに再びがんばることの価値付けとがんばるエネルギーの充電を

校長 安藤 臣一

先日の10月23日には学校公開・道徳授業地区公開講座そして図工作品展示を実施し、多数の保護者の方に参観していただきました。運動会後の子どもたちの成長した姿を見ていただくことができ、とてもうれしく思います。ありがとうございました。

さて、運動会そして遠足社会科見学等の行事が一区切りついた10月後半ごろから、私は子どもたちの状況に気になることが出てきました。

まず、運動会後からお休みする子がぐっと増えてきました。そして学校生活では、担任の先生の授業ではおおむねがんばれるものの、専科の授業や少人数に分かれての算数の授業等の担任以外の先生の授業において、集中力が持続せずに学習に関係のないことを言ったりしたりしてしまう子が増えました。そしてさらに登下校中や放課後の遊びの中で、思いやりに欠ける言葉や行動が報告させるようになりました。

この小宮小学校の子どもたちの「変化」をどのようにとらえたらよいでしょうか？小宮小の子どもたちは、だんだんと悪くなっているのでしょうか。

私は、小宮小の子どもたちのこの実態には2つの原因があるのではないかと考えています。一つは、「心身の疲れ」です。これは大きな行事が終わった後の疲れ、急に寒くなったという気候による体調の疲れ、そしてこれまで緊張感をもって生活してきたことの疲れです。そしてもう一つは「規範意識」です。してはいけないことあるべき姿はわかっているけれど、それを見ている人がいなくなると緩んでしまうというのは、本当の意味で規範意識が一人一人のものになっていないと考えることができます。

小宮小の子どもたちは、学習にも生活にも本当のよく頑張っています。そして「あるべき姿」を示す行動も頑張ってきました。ただ、このあるべき姿を行動で示すのは、学習と同様に「がんばるエネルギー」が必要です。

今回の子どもたちの姿は、身に付けようと頑張っていた規範行動が「疲れ」と「ゆるみ」によって示すことができなくなっている状態であると考えられます。

学校生活もちょうど折り返し地点を過ぎたところですが、疲れが出るのはあたりまえです。規範行動がうまくできなくなる時もあります。小宮小学校はこうした子どもの実態をしっかりと受け止め、子どもたちに再びがんばることの価値を伝え、がんばるエネルギーを充電させ、いつでもどこでもあるべき姿を示すことができる子どもたちへと育てていきたいと考えています。

11月になりました。11月は伝える2大行事「学芸会」が予定されています。子どもたちがこの学芸会で大きな達成感が得られるよう、小宮小学校教職員一同全力でサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 教室をきれいにしています

小宮小学校ができて今年で46年。教室の床や壁にも歴史を感じられるようになってきました。そこで、夏休みから用務主事の林さんが一人で1年生の教室から順に、床と壁の塗り直しをしてくれています。先月末までに3年1組の教室まで終わりました。新しく生まれ変わった教室ではりきって勉強してくれることでしょう。



都内見学で、スカイツリーに向かって歩く4年生の子どもたち(9/15)

